まえがき

2006年7月14日（偶然ですが，フランス革命記念日）に，九州に風景デザイン研究会が発足しました．その趣意書に，「豊かな自然と人の情けに溢れる故郷を再び取り戻すためには，まずその器である公共空間を守り，育てることが大切です．人々が暮らす場所こそが，心地よく整えられておく必要があります.」と書きました．単に人目を引く構造物を設計することに腐心するのではなく，地域づくりに，官民学が一体となって取り組むことが必要であると思います．幸い，私たちの考えに100名以上の方が賛同していただき，少しずつではありますが，実践活動も始まっています．

「風景デザイン」とは何か．これは，なかなか簡単に答えられません．各人各様の思いの総和だからです．ただし，基本的に全員が了解すべき用語やものの見方は，共有しておいたほうが良いはずです．本書は，そのような認識のもとに書かれました．２通りの読者を想定しています．①大学の初学者も含め，風景デザインに関心を持つが，知識や経験のない方．②官民の技術者で，実際に公共空間の設計に関連した業務を担当している方．私たちが，両方同時に書くことの必要性を感じたのは，風景デザインとは現場なしには考えられないからです．デザインの実践と暮らしの実践は双方向で影響を及ぼし合います．つまり，風景の「とらえ方」と「つくり方」は不可分であり，実践を通して各自の能力を涵養するしかないと考えています．

本書のタイトルに「九州実践編」と付け加えました．風景デザインは，少数の優れたデザイナーによってできるものではありません．住民を中心とした多くの人々が，子供や孫たちの時代に実現する地域づくりを志し，実践することです．本書の後半は，まさしく九州実践編です．しかし本書は，九州在住でない方にこそ手にとってほしいと思っています．ぜひとも有志を募り，「関西奮戦記」や「東北健闘史」などが次々と世に出ることを願ってやみません．

2008年10月

小林　一郎

執筆者一覧

小林　一郎（熊本大学大学院自然科学研究科　教授）
日野川橋詰広場，白川緑の区間，曽木の滝分水路等のデザイン指導を行う．

島谷　幸宏（九州大学大学院工学研究院環境都市部門　教授）
板櫃川多自然川づくり，石井樋復元事業，アザメの瀬湿地再生などを行う．

樋口　明彦（九州大学大学院工学研究院　建設デザイン部門　准教授）
嘉瀬川本ダム・副ダム，厳原大町通り街路，遠賀川河川敷等の景観設計を行う．

仲間　浩一（九州工業大学工学部 建設社会工学科　教授）
小国町「杖立温泉景観整備基本計画」策定，まちづくりオフィス「ライフステーション杖立ラボ」運営，山国川青地区河川改修事業などを行う．

吉武　哲信（宮崎大学工学部土木環境工学科　准教授）
新日向市中心市街地活性化基本計画策定委員会委員，宮崎県西都城駅前広場検討委員会委員，日南市油津地区・都市デザイン会議委員などを務める．

柴田　久（福岡大学工学部社会デザイン工学科　准教授）
宗像市大島港景観設計，福教大附属福岡小学校広場デザイン，福岡県公共事業景観形成指針作成などを行う．

田中　尚人（熊本大学大学院自然科学研究科　准教授）
かごしま都市デザイン会議景観計画策定，天草市文化的景観保全計画策定，坪井川における川まちづくりプロジェクトなどを行う．

星野　裕司（熊本大学大学院自然科学研究科　准教授）
熊本駅周辺都市デザイン，白川緑の区間，加久藤トンネルなどの景観設計を行う．

高尾　忠志（九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門　学術研究員）
日南市油津地区歴史を活かしたまちづくり計画策定，由布市湯の坪街道周辺地区景観計画・景観協定策定，佐賀市兵庫北地区下村雨水幹線水路景観設計等を行う．

石橋　知也（福岡大学工学部社会デザイン工学科　助教）
宗像市大島港景観設計，福教大附属福岡小学校広場デザイン，博多の水辺協議会準備会・川まちづくり部会などを行う．